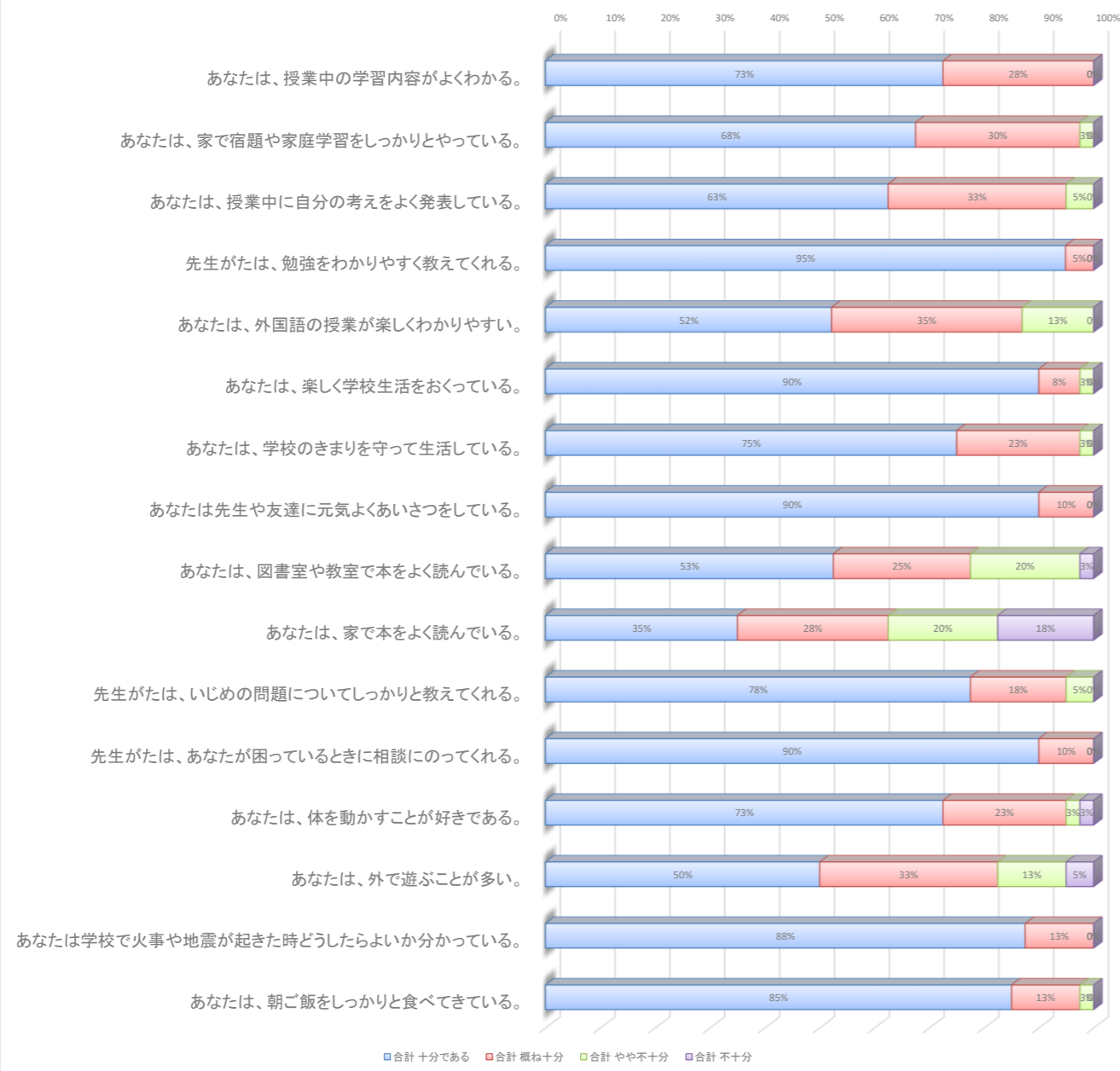


納内小学校 学校評価アンケート（12月）

令和2年度 納内小学校 児童アンケート12月実施



< 分析・考察 >

○全項目について、「概ね十分」以上の肯定意見が半数を上回っており、本校の教育活動が一定の満足感の元に進められています。学習面では、「勉強をわかりやすく教えてくれる」の項目が最も肯定的に捉えられています。しかし、「授業中の学習内容がよくわかる」が若干下がっており、「わかりやすい教え」＝「内容がよくわかる」に直結するよう校内研修などを通して教師間で研鑽を積んでいきます。

○「学校生活が楽しい」という回答が肯定意見を合わせると100%に近く、学校生活に満足している児童ほとんどです。あまり楽しいと感じていない児童に対してどのように対応していくかを考えていきます。

○読書の部分では、家で読書をしていると回答している児童が6割程度と低く、何らかの働きかけが必要であると考えます。ただ、学校における読書については約8割の児童がよく読んでいると回答しており、今後は、学校でも家庭でも読書をしない児童が減るように学級活動、児童会活動等とも連携をさせながら取り組んでいきます。

○「体を動かすことが好きである」「外で遊ぶことが好きである」ことは、体力向上のために大切なことだと考えています。体育の時間だけではなく休み時間に体育館や外で遊ぶ機会を増やしていきたいと思えます。

○いじめに関しては、日常生活や道徳、全校朝会等でも指導を行っています。まだ、十分に伝わっていない児童もいるようですので、今後もいじめが起らないように学校全体として継続的、積極的に指導を行ってまいります。

○コロナ禍で様々なことが制約された生活となってしまいましたが、出来るだけ児童のストレスを緩和しながら充実した教育活動となるよう、家庭との連携をとりながら進めていきたいと考えています。

例年、2回の保護者アンケートを行っていましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により1学期に予定されていた教育活動が十分に行えなかったため、1回の保護者アンケートとなりました。回収率は100%となり、全家庭が提出してくださいました。日頃より納内小学校の子ども達のために、惜しみないご協力をいただき誠に感謝しております。教育活動において不十分な点もあると思いますが、今回の結果を真摯に受け止め、子ども達に還元できるよう、職員一同で取り組んでいきます。これからも、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和2年度 納内小学校 保護者アンケート12月実施



< 分析・考察 >

○全ての項目のうち3項目以外は、肯定意見が8割を超えており、教育活動全般に対して理解していただいていると考えられます。肯定意見が少なかったものに、家庭での読書についての項目があります。児童アンケートを見ると、家庭よりも学校で多く読書をしているという結果が見られます。校内での活動では、朝読書や休み時間等で読書をする児童が多数います。読書の大切さ、楽しさを児童に伝えていき、家庭での読書時間が増えるように、働きかけを行ってまいります。

○家庭学習については、「宿題」、「ノート等で行う家庭学習」、「家庭で用意している学習教材」など、それぞれの家庭で取り組んでいるものや目標としている時間にも違いがあると思います。学校では1、2年生は30分、3、4年生は45分、5、6年生は60分の家庭学習が出来るよう推進しています。ご家庭では、1日の生活の中で学習を始める時間を決めていただき、継続して家庭学習を行えるよう声掛けをお願いします。

○自分の考えを話したり伝えたりできる、という項目も低くなっていますが、児童アンケートでは95%の児童が授業の中では発言が出来ていると自分自身でとらえています。学校と家庭での児童の様子が若干違うことによるギャップなのかもしれません。学校では「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりに取り組んでいます。その中で、話す力(伝える力)、聞く力を伸ばせるように取り組んでいきます。

○コロナ禍で通常通りの教育活動がなかなか行えなかった年度ですが、出来ることは通常通り行いたいという方針で教育活動を進めてきたことにご理解をいただき、感謝しております。今後とも、子どものために何が大切かを判断し地域、家庭と連携をとりながら、教育活動を進めて参ります。